

コミュニティを大切にしたい

- ・高齢者の方と子どもが一緒に過ごせる居場所を作りたい
- ・地域住民が集まる集会所が欲しい
- ・昔から住んでいる地域のコミュニティをそのまま維持したい
- ・子ども達を地元に残るように、昭和小学校を残したい

にぎわいを作りたい

- ・昔から事業をしている個人商店を残していきたい（大きな店より早く復興できるのではないか）
- ・大型商業施設、地元の店と住居、企業と工場をエリアで分けて街を作りたい
- ・江ノ口川の南側に賑わいエリアを作りたい
- ・マルシェが開催できるような場所を作りたい

住みやすいまちにしたい

- ・道の広さは広すぎず適度な幅で整備してほしい
- ・幹線道路沿いに大きな商業施設を誘致し、一本入った道沿いに個人商店を残したい
- ・路面電車を残し、街のシンボルにしたい

公園を残したい

- ・フェスができる公園が作りたい
- ・丸池公園を残したい
- ・地域ごとに特色のある公園を作りたい
- ・人が集まりたくなる環境を作りたい
- ・子どもが集まって遊べる公園を増やしたい

浮島にすれば、液状化や地盤沈降が起きても安心できる

新田町から若松町まで橋を整備したい

桜を残したい

- ・桜に個人名、企業名を入れて地域を知ってもらおう
- ・桜道を残したい

川沿いで楽しみたい

- ・韓国のハンガンのように川沿いで高知名物（ラーメンとかジャン麺）を食べられると良い
- ・韓国みたいに川沿いに体力づくりできるマシンを並べたい

市場をもっと活性化

- ・弘化台を観光に活かす
- ・弘化台に場外市場をつくる
- ・弘化台に大きい商業施設を作りたい

■お知らせ

(回答はこちらから⇒)

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



■お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
 TEL : 088-823-9055
 FAX : 088-823-9085
 Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興まちづくり ニュース VOL.1

R 8. 3. 19

中央地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ (下知地区) を開催しました!

地域の方 36名参加

ワーク1は2ページ、ワーク2は3ページ、ワーク3は4ページに表示しております

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの内容 (予定)

第1回 R8.2.18 開催

- ・地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- ・復興パターン2案について
- ・楽しくなるような未来のまちについて

第2回 令和8年6月頃 開催予定

- ・目指すべき姿(案)について
- ・修正復興パターンについて
- ・速やかに復興するために必要なことについて

第3回 令和8年10月頃 開催予定

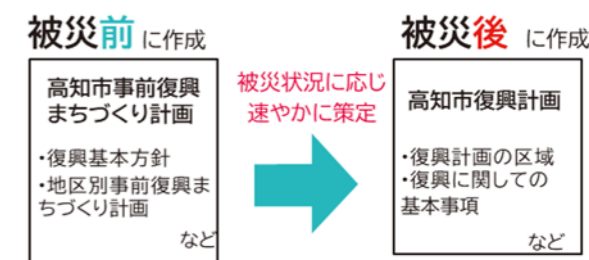
- ・修正復興パターン(最終案)について
- ・災害が起きる前からできることについて

2月18日(水)、下知コミュニティセンターアイジスにて、中央地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップを開催しました。ワークショップでは「下知地区の良いところ・残したいもの、困っていること」、ワーク2では「復興パターンについて」、ワーク3では「下知地区で住み続けたいような楽しい未来の姿」について、みんなで話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは?
 南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

- ① 早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める
- ② 適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③ 人口流出の抑制につながる



●暮らし

良いところ・残したいもの

- ・量販店やコンビニ、集会場、様々な施設があって便利である
- ・街全体がコンパクトであるため、生活しやすい
- ・駐車場が増えて便利である



困っていること

- ・高齢化が進み、世代を超えた地域の繋がりが薄くなった
- ・津波のリスクがあるため、地価が低くなった。
- ・街全体に駐車場が増えたことが良いことが疑問である

●公共交通

良いところ・残したいもの

- ・路面電車を残したい
- ・公共交通機関を利用しやすい



●公共施設

良いところ・残したいもの

- ・防災公園がある（弥右衛門公園）
- ・公園が多く、地域住民が集まる憩いの場になっている



困っていること

- ・集会所が無い地域がある

アイデア

- ・ゴミステーションのある公園があると良い
- ・江ノ口川沿いを鏡川の「みどりの広場」のように整備したい

●歴史・文化

良いところ・残したいもの

- ・神社の祭りが盛んである（稻荷神社）
- ・多賀神社を残したい
- ・堀川、江ノ口川の桜、一文橋の文化を残したい



●地域

良いところ・残したいもの

- ・大人になっても住み続ける人が多い
- ・地域内でコミュニケーションがとれている
- ・コミュニティのつながりが強く、助け合いができる



困っていること

- ・若者や子どもが少ない
- ・古い建物が多く、空き家が多い
- ・近所付き合いが少ない
- ・商店街が少なくなった
- ・一部の地域で区画整理されておらず、住宅が密集している

●道路

良いところ・残したいもの

- ・坂道がないので、高齢者の方も歩きやすい



困っていること

- ・行き止まりや一方通行が多く、逆走が多い
- ・道の幅が狭い、歩道がないなど、道路の問題が多い箇所がある
- ・交通量が多い（通学の子供も、病院に行く患者さんが心配）
- ・横道が多く交差点の見通しも悪いため、事故が多い

アイデア

- ・知寄町3丁目に歩道橋があると良い

●災害

良いところ・残したいもの

- ・津波避難ビルとなる高い建物が多い



困っていること

- ・避難ビルの入り口が分かりにくい
- ・防災訓練に地域住民の集まりが悪い
- ・家屋の倒壊、古いブロック塀の倒壊が心配である
- ・堤防の倒壊が心配である（江ノ口川の右岸）
- ・地盤が低いため大雨などの水害に弱い
- ・ポンプ場が機能するか心配である

【第1案】二線堤形成案



いいね！

- ・地域全体を守れるのがよい
- ・にぎわいエリアを形成するのが良い

ちょっと心配…

- ・二線堤は時間がかかりそう
- ・移転する住民に対し、負担が多くなるのではないかと
- ・二葉町、若松町の川沿いの堤防を二線堤としては整備しないのか

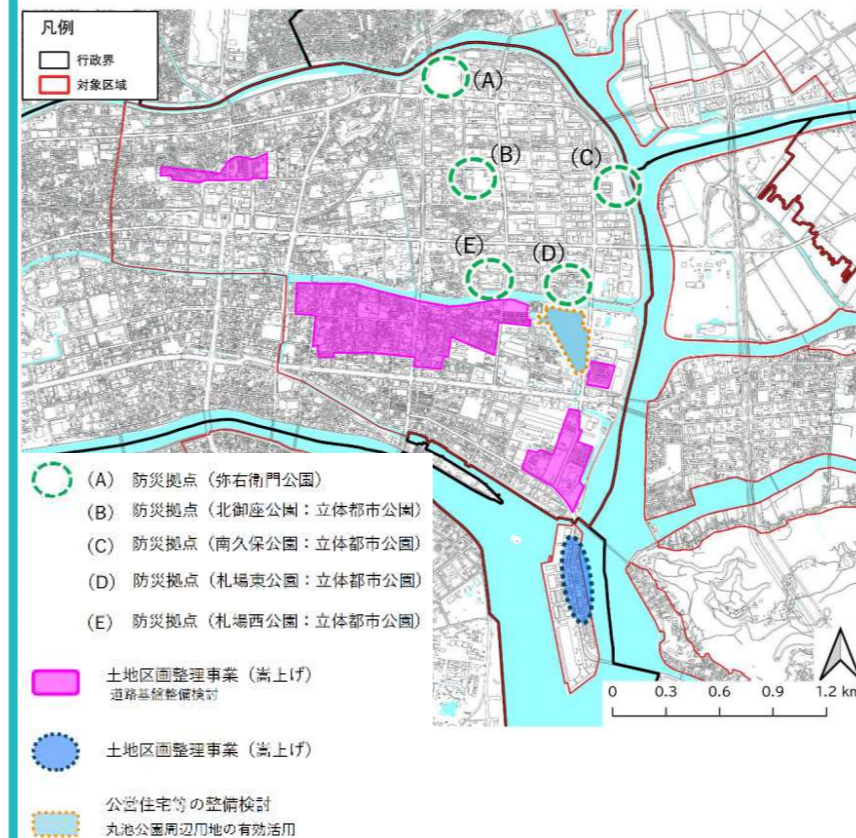
こうしてほしいな

- ・区画整理事業と合わせて、高上げてほしい
- ・二線堤と合わせて防災拠点も整備したい
- ・江ノ口川より南側にもにぎわい形成があれば良い

1案と2案の共通意見について

- ・区画整理の範囲を広げた方が良いのではないかと（日の出町、弥生町等）
- ・被災後のまちがどうなるかイメージが湧かないので、復興のイメージも湧かない
- ・測量や権利調査を平時から進めておけば、復興期間を短縮できるのではないかと
- ・復興期間の7～8年間はどこでどのように生活するのか
- ・地盤沈下が心配である

【第2案】防災拠点形成案



いいね！

- ・防災拠点が津波避難の要素と、にぎわい施設の要素を兼ねている点が良い

ちょっと心配…

- ・江ノ口川より南側にも防災拠点を整備しないと心配である（青柳公園など）

こうしてほしいな

- ・南宝永町も高上げの地域に入れてほしい